

# 平成30年度 粉河高校 防災スクール

平成31年1月22日(火)、和歌山県立粉河高等学校において防災スクールを実施しました。この訓練は、高校1年生240名を対象とし、「災害が起こった際、高校生としてできる技術を身に付けること」を目的としています。

冒頭で東消防署副署長から、緊急時についての心構えや具体的な対処方法、「南海トラフ地震は近いうちに必ず起きる。」などについての講話がありました。

次に、2グループに分かれ心肺蘇生法と搬送法を実施しました。

心肺蘇生法では、意識の確認や正確な胸骨圧迫の重要性を学べたかと思います。また、搬送法では、1人の傷病者を搬送する際、皆で協力することにより、共助の精神を理解できたかと思います。

今回、限られた時間での訓練でしたが、生徒の方々が熱心に取り組んでくれ、スムーズに訓練を行うことができました。

この体験を忘れず、災害が発生しても助け合う、という意識を持ち続けることができれば、災害に強い町になると思います。

